

卒業生から後輩に伝えたいこと

(3) あなたが現在の学生にアドバイスをするとしたら、次のような大学時代の学習や経験をどの程度すすめますか。

総合科学部

- ・サークルに参加していなくても、定期的な集まりがあるような会には参加して、自分の居場所を大学内に持つことが、自分の大学生活の支えになりました。
- ・まとまった時間がとれ、しがらみが比較的少ない貴重な日々だと感じます。後から考えると馬鹿みたいなことや、不思議なこと、がむしゃらだったな、と思うこと。どんなことや思い出も今の糧に繋がります。人に迷惑をかけないことは大切ですが、思い切って、やりたいと感じたことに、是非踏み出して欲しいと思います。
- ・よく学び、よく遊び、善く動く。が人生で肝心だと思います。学業の大切さは卒業してから気付きます。勉強のできる環境に感謝して楽しい学生生活を送ってください。
- ・大学での授業の内容が社会で直接役立つことはほぼないので、調べ方や関わり方など目的の為への手段を増やす事が必要かと思います。そのためにいろいろな分野に足を踏み入れる事が将来の方向性を決める時のきっかけになるかもしれません。
- ・現在労務を担当していますが、大学では給与計算のことも社会保険の手続きも勉強できません。ただ、サークルやアルバイト等でいろいろな人と関わった経験は、人事課としてとても役立っています。
- ・時代も生き方も刻々と変化しているので、現時点での能力よりも成長し続けることが大切です。就職しても、起業をしても、常に変化が求められる。自分の軸をもって生きる。ありたい姿を念頭に生きる、早くから始められると幸せだと思います。

文学部

- ・広島大学を卒業した、ということそのものが、現在の私にとって、とてもプラスになっています。同窓会（千田塾）が充実していたり、職場での人事異動の際に広島大学出身であることでアイスブレイクできたりと、卒業後こそ、広島大学との繋がりを意識する機会が多くなっています。
- ・コミュニケーション能力は大学時代の友人関係、アルバイト、教授（社会人）との対話で醸成されると思います。
- ・多様な学部の子供、いろいろな立場の大人とできるだけ出会い、刺激をたくさん受けること。
- ・サークル活動でもアルバイトでも、自分の所属先をなるべく増やすことをすすめます
- ・文学や美術など、一見社会生活に関係なく思える分野も、教養として身につけておくべきだと思う。そこからコミュニケーションが生まれ、意外なところで仕事に繋がることもある。（そういった観点からも、文学部はなくさないでほしい！！）
- ・教授の言うことが全てではないので、おかしい、辛いと思ったらカウンセリングに相談することを勧める。県外からの下宿生が多く、広島市内からの自宅通学生が少なく、肩身の狭い思いをするが、友人はできる限り作った方がよい。
- ・どれをとってもかけがえのない経験であった。諸先輩方や先生方は私達を手厚く歓迎してくれるので、自分から様々な催し物に参加するべき。
- ・最終的には、学問や部活動などを、やりたいこととしてできるかだと思う。
- ・授業を受けて知識をつけるのはもちろん大事。ですが、せっかく大学へ来たのであれば、大学でしか経験できないこと、意味のあることないこと、沢山の経験をした方が絶対良いです。人生の内の数年間、全力で楽しんで欲しいと切に願います。
- ・大学で学んだ内容自体が今の仕事に役立ったと

卒業生から後輩に伝えたいこと

は言えませんが（専門とは関係ない仕事についてため）、大学で学んだ過去があるからこそ、今の自分があると思います。経験することに何一つ無駄なことはありません！

教育学部

- ・さまざまなアルバイトをしたり、いろんな人とのつながりをもったりした方が、自分の世界観が広がってよい。
- ・友だち関係も大事にしつつ、自分の芯をしっかりともつことが大切だと思います。私自身、もっと本を読んだり、研修等に参加したりしたらよかったと後悔しています。自由につかえる時間が多いので、今しかできないこと、将来に繋がることの両方を大切にしてください。今、コロナ禍で大変ですが、読書をしたり、テレビ電話、リモート研修など、できることはたくさんあると思います。学生時代のこの経験は、きっと社会でいきるはずですよ。頑張れ、広大生！
- ・とりあえず将来を見据えて学んだ方がよい。将来が決まっていなければ学べることは全て学んでおけば、自分の気づかないうちに役に立つこともある。
- ・情報系の知識が不足していると痛感した。就職してからすぐ必要になる実務能力を、身につけるまではいかなくとも、知っておきたかった。
- ・勉強だけをしていればいい期間は学生時代まで。その期間にアルバイトで時間を売るのは勿体無いので、とにかく勉強にあてるべき。加えて、交友関係は財産でもあるので、勉学同等に大切にしてほしい。
- ・実際何が役に立つかは社会に出てみないと分からないので、やりたいと思ったことをすすんでやってみるのが良いと思います。
- ・学生生活はあっという間です。ですが、社会人には無いある程度の自由な時間はあります。今のうちに自ら行動し、やりたいことを見つけてがむしゃらに行動し続けると、将来きっといろ

んな場面で生きてきます。

- ・大学時代は4年間と長く、自由に学べてなんとなく過ごしてしまいがちですが、その後の社会人生活の基盤を作る貴重な時期だと思いますし、こんなに自分のために時間を使えるときはもう二度とないと思うので、楽しみながらも貪欲に勉強してほしいと強く思います。
- ・何を成し遂げたか自信をもって言える学生生活を送って欲しい。
- ・留学や実習やインターンシップにしても、事前にどれだけ入念に準備するかが肝要だと思います。「参加した」という事実にとられるのではなく、中身のある学習をするための準備をしてほしいです。
- ・大学での授業だけでなく、アルバイトやボランティア活動で交友関係を広げることで、視野を広げることができると思います。
- ・人とコミュニケーションをとること、特に書き言葉と読み言葉での両方のコミュニケーションをとることを勧めます。
- ・当然と言えば当然ですが、広大生は賢い人が多いです。そういう友人たちとの繋がりは大切にしてください。きっとあなたの人生にプラスになります。
- ・海外留学を勧めます。今でもしたいです。
- ・授業にはきちんと出席し、講義を受けた方がよい。単位は余裕をもって取得する。卒業や、資格・免許に必要な単位数を早めに計算し、最後に焦らないように。サークル活動には参加した方がよい。学部の違う学生との交流は、社会人になった後も貴重な経験となった。学生時代にしかできないこと(留学・ボランティア・アルバイトなど)には積極的に参加を。広大には、学生に向けた色々な支援や施設が多くあるので、無駄にしないようしっかり活用してほしい。現在、在学学生は多くの専門的な知識を学んでいると思われるが、それが直接就職や将来設計につながるものになる人は多くないと考える(つながる

卒業生から後輩に伝えたいこと

レベルまで学べる人はそうそういない)。実際、教育学部卒業の私も、教育業界からは1年たらずで離れることになった。そのため、どこに行っても通用する能力の形成を強くおすすめする。具体的には、特に専門外の分野における知識の獲得、目上の人との交流、自身の思考の言語化等が挙げられる。簡単に言えば、常に新しいことに挑戦して、試行錯誤を繰り返そうということだ。学生というのは自由に柔軟なように見えて、その無知故に同世代のコミュニティに固まりがちで、専門外の話には疎く、結果としてコミュニケーション能力不足になりがちだと、自身の経験から考えている。しかし上記の通り、今学ぶ分野とは違うものを相手に社会で活動する人もたくさんいるわけだから、知らないもの、違う立場の存在に触れて、それらについて言葉で語るという経験はとても重要である。ぜひともトライアンドエラーを繰り返し、どのような進路にも適応できる力を身につけて欲しい。

- 大学のうちしかできないような様々な経験を積極的に積んだ方がよい
- 時間と体力のある学生のうちに勉強、スポーツ、遊びとなんでも好きなことを思いの向くまま全力で取り組んで、もっと楽しく、もっと深く、もっと新しいことをと追求し続けてください。
- 色々な経験をしていただきたいです。色々な種類のアルバイト、長く続けることの経験、サークル、体育会の積極的参加など、色々なところに顔を出し人と関わり学ぶこと。今しかない自由に使える時間を社会人としての勉強の時間に費やしていただくといいかと思います！ぜひ絶望する気持ちを、挫折を。いい意味で今のうちに味わってください。社会人になってからの強みとなります！
- コロナ禍においては難しいと思いますが、海外留学は学生のうちでしか体験しづらいことだと思います。海外に行かずとも、留学生の多い西条キャンパスはひとつの海外のような環境とも

言えるので、是非環境を活かして多くの経験を積んで欲しいと思います

- 学生のうちに様々な経験をしてほしいです。また、交遊関係を広げることもきっと人生の手助けになると思います。
- 学べる環境が身近にあるというのはとてもすてきなことだと思います！本を読む・人と交流するなどぜひ時間を有効につかって下さい！
- 内向きにならず、外向き志向でしっかりいろいろな人と会うことが貴重な経験につながると思います。
- 広大な教育学部の教育の質の高さを卒業してから感じる人が多いです！！授業はぜひ真面目にうけてほしい！！履修必修の科目ももちろんですが、自分で選べるもので、学びを感じるものが多かった気がします。(ex●●先生の「ここにこ」での学習は私の自信になっています！)(正式名称忘れまして…心の…?)
- 私は、大学の講義ってむずかしいなと思っていた方でしたが、現場に出てから知識と実践が繋がって、「そういうことだったんだ」って分かる人が多いです。時間にゆとりがあるタイミングだと思うので、勉強でもいいし、アルバイトでもいいし、友達と遊びに行くでもいいので、4年間を充実させてほしいなと思います。
- 学生時代ほど、自分の興味に合わせて時間をつかえる時はないので、欲張ってやりたいことは何でもやってほしい。海外に出ることは強くすすめる。(自分がそうしかかった)
- あとで悔やむから少しは勉強しておきましょう。
- 大学生活は高校までと違い、自分の時間の使い方が高い自由度があります。今しかできないこと、興味はあるけど時間が必要でやって来なかったことにはぜひ積極的に行動をおこして行って下さい。
- 様々な分野に興味を持ち、様々な考え方に触れてほしい。
- 語学の習得に力をいれるべきでした。あと大学

卒業生から後輩に伝えたいこと

の書物の数は圧倒的なので本をもっと読むべきでした。

- ・自分の興味ある分野は、とにかく挑戦した方がいいと思う。社会人になると、時間的な余裕がなくなってしまうので。

法学部

- ・よく学びよく遊べ
- ・自分は在学中にすでに働いていたのでサークルやアルバイトをすることはなかったけど、大学の勉強はもちろんサークルやアルバイトは社会人になった時役立つと思う。
- ・取得できる資格はできるだけ取っておいた方がいい。私は教員免許をまったく考えておらず取らなかったが、大学を出て教育に携わるようになったから。
- ・大学生活は自由な分、悩んだり迷うこともあると思うので、そんな時は1人でかかえこみすぎず、信頼できる周囲の人に相談したり、頼ったり、学生支援サービスを利用することも、大切だと思います。
- ・人との出会い、その人達と濃い時間を過ごして欲しい。自分の好きな事を思いっきり好きなようにやって欲しい。大学を自分なりに楽しんで欲しい。

経済学部

- ・海外に慣れておいた方がいいかも。
- ・期限を決めて取り組むこと、優先順位をつけることをアドバイスしたいと思います。「何もかもやりたい!」という気持ちがある方もいらっしゃると思いますが、全てを追い求めると、どれもそれなりにしか出来なかったという結果が生まれやすいと思います。学問、サークル、アルバイトなんでも良いので、期限を決めて取り組むこと、優先順位をつけることで、「自ら選択する力(=意思決定を行う)」を身につけて欲しいと思います。大学を卒業した後どのような社会人生

活を歩むかは人それぞれですが、今後皆さんが一樣に生きていく社会の変化スピードは想像を超える速さです。身に付けている知識やスキルもいずれ陳腐化していき、常に更新していかないと平凡なサラリーマンにもなれないと個人的に感じています。何かを吸収するにあたって素地が少しでもあればそれだけで壁がグッと低くなるので役に立つかわからなくても逃げずに色々な経験をしてください。大学時代に0を1にしておくだけで十分です。皆さんには少しでも多くの物事に触れてもらい、広島大学でたくさんの事を学んでもらいたいです。その環境は整っていると思います。

- ・中国新聞社でのアルバイト経験が大変役に立っています。
- ・大学時代の交遊は社会人になってからも異業種交流としてとても生きています。
- ・短期留学制度（START）に関しては非常に良い制度だと思う。ぜひ参加して語学以外にも学べることを習得してほしい。

理学部

- ・いろんな専門分野の人と交遊関係を作っておくこと、社会人との交流を積極的にすること、その中で様々なマインドセットに触れ、自分に取り入れ自己を確立していくことをしておくことをおすすめします。
- ・長期間の休みを取れる最後のチャンスであるため、是非とも留学すべきだと思います（今はコロナで難しいですが）
- ・物事を抽象化して上位概念から考えるスキルを身につけておくことを強く勧めます
- ・今後は現在以上に貧富の格差が広がる世の中になると思います。こういった業界、サービスに資金が集まるのか、国外を含め広い視野を持って学生生活を送ってください。
- ・社会に出てから役立つことを授業や卒業研究、アルバイトを通して身につけてほしい。進学か

卒業生から後輩に伝えたいこと

就職か、どこに就職するかを真剣に考えてほしい。大学での講義やガイダンスでも、人生の選択について材料となる話題を提供してほしい。

- ・時間があるので、様々な種類のアルバイトをしたり、サークルに入ったり旅行したりと経験値を増やすことも将来役に立つと思います。
- ・漫然と過ごすことが許されるのも大学時代の特権。目標がないからこそ、最低限を確実に。
- ・海外留学の機会が、今以上に広がれば、尚良い。周りに、行きたくて、努力もしていたが、行けなかった人間もいるので。
- ・いざ社会に出てみると、様々なスキルを身につけたいと思う。が、時間が圧倒的に足りない。大学生活には、あり余る時間があるので、その大切さに気づいてほしい。
- ・ただ、最も大切なのは、友人たちと過ごす時間。表面的な付き合いをする友人の数ではなく、何でも話せるような、本当に大切な友人を見つけてほしい。

医学部

- ・専門分野だけでなく、歴史や文学など様々な教養を身につけることで、ものごとを多面的多角的に見る力をつけることができると思っています。興味を持ったときに、自分で探究していくと、新たな分野の知識が身につき、自分のものになります。
- ・授業などで学ぶことも大切にしつつ、時間に余裕がある学生の間にはかできないこともして、充実した生活を送ってほしい。
- ・大学生活を楽しんで下さい。
- ・大学生活の中で、暇な時間などないくらい積極的に活動してほしいと思います。“自由”とは思いうよりも尊いものだと思っていて実感しています。

歯学部

- ・大学や大学院での経験は、社会人となり特定の

組織で働く際に生きてきます。どのような業種・職種であっても、経済や経営に関することは学生時代に学んだり興味を持っておくことを勧めます。世の中の流通を構成する要素は、「人・モノ・金・情報」と言われていますが、学生時代に学んだことは必ずいずれかの内容が含まれていると思います。その学んだ知識や経験をどのように社会的に活かしていくかは工夫次第ですが、学生時代は専門分野以外のことにも興味を持っていたかどうかで社会人としてのスタートダッシュに差がつくのではないかと、経験上感じています。また、自分自身の社会的価値（市場価値）を常に意識して考え、分析し把握しておくことを勧めます。

- ・アルバイトでお金を貯めて、旅行は行ける時に行っておいた方がいい。専門分野の本も分からなくても読んでおいた方がいい。社会人自由時間が限られます！

薬学部

- ・将来後悔しないため就職について真剣に考える機会を多く持つべきと思う。
- ・研究室選びや就職活動は慎重に。
- ・サークル活動やアルバイトなど、大学時代にしか作れない人間関係は卒業後にも生きてくるのでぜひ経験してみてください。
- ・大学時代の友人は一生ものだと思う。特に同性。

工学部

- ・大学生時代の自分にアドバイスするとしたら、「自由な時間を使って、興味のあることに対しとことん勉強・練習しましょう」「お金の貯め方と使い方を勉強しましょう」の2つです。
- ・大学を出るつもりがあるなら、「社会」を自分の中で肯定的に定義できるようになるまで勉強すべきだと思う。それができないうちに、社会や大学や講義を批判することはただの不勉強が故の不幸だと思う。大学生になると、受験から

卒業生から後輩に伝えたいこと

解放され、夢の大学生活が始まると思います。様々な交遊関係が広がり、アルバイトやサークル、一人暮らし等をして、生活環境が変わり新しい情報も次々と入ってくると思います。そう言った中で、思う存分キャンパスライフを楽しんで頂くのは大前提として、授業や勉強が疎かになってはいけません。やはり、慣れてくるとダレる部分もあるとは思いますが、社会に出て感じる事は、学生時代の学びは無駄じゃなく、むしろ力になっています。全部が全部必要かと言われるとそうでないものもあります。しかし、与えられ自分で選択したカリキュラムはしっかり全うする事で、物事の考え方や背景など本質を考えぬくスキルが向上すると思います。また学内のイベントだけでなく、留学や社会との交わり外との交流も持つ事で、価値観を広げ柔軟な考えを持つ事ができると思います。広島大学は非常に優秀なので、それをもっと教員、学校側は生徒に伝えて、モチベーションを持ちながらやって頂きたいです。偉そうに言いましたが、自分は少なからず後悔があるからこそ一人でもそうならないようにして貰えたらと思います。

- ・学業も大事ですが、する気がある人は意識せずともできると思う。それよりも時間を作れるため、サークル、部活活動や、留学など人間関係の構築や言語技能の向上に力を入れることで社会に出てからも困ることが少ないと思う。
- ・サークルや部活などの1つの環境だけで忙しく過ごすもの良いですが、違うサークルや部活、語学研修授業、ボランティア、起業イベント等、様々な環境へ飛び込んでみてください。大学生の時間は非常に長いので、自分は人生で何をしたいのか、自分の人生はどういう風にしたいのかを常に頭の片隅で考えながら生活することをオススメします。もちろん、様々な環境に飛び込む事がその助けになると思います。あと博士課程へ進んだ人は研究室に籠もって研究に没頭するのも良いですが、もっと遊びましょう。

- ・大学生の間は自分で使える時間が豊富にあるので、やりたいことを絞り過ぎず、少しでも興味があることは挑戦してみたい。
- ・広島大学は様々な機会を提供しているので自分でいろいろと挑戦しやすい環境であると感じた。専門にこだわらず総合大学の強みを十分に活かした学生生活にすると良いと思います。
- ・一番はやはり友人を多くつくっておくことです。友人が多いほど、いろいろと相談できる幅も広がります。
- ・エクセルの検定を受けてみると、自分の力にもなるし、履歴書にも職種にあまり関係なく役立つ資格として書けると思います。
- ・何に時間を使うであれ、目標、目的を持って4年間を過ごすべきと思う。
- ・語学とくに英語能力を磨いておいて損はない。新聞も地域の経済面などは身近な興味や世の中を知るためにもやっておいて損なしです。

生物生産学部

- ・会社員になると学生の頃のような交友関係を広げることが難しいので、学生のうちに楽しめることは目一杯楽しんだほうが良い。
- ・視野を広く持つこと。自分の偏見から抜け出すこと。域内、国内だけでなく世界を見ること。その大学でしか経験できないことをする。良い師を見つける。
- ・大学生活ほど自由に遊べる機会はない。社会人になると時間が取れなくなる。金銭面での問題はあろうと思うが、様々な支援制度があると思うので、自ら情報収集を行い、勉強や留学などいろんなことにチャレンジし、経験を積むべきだと思う。
- ・人生においてこんなに時間の自由がある期間はないと痛感する。